

**新型コロナウイルス感染拡大防止のための**

**生物遺伝資源の緊急一時保管（無償）依頼書**

　　　　年　　月　　日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

バイオテクノロジーセンター所長　殿

依頼者

住　所：〒

機関名：

部署名：

氏　名： 　　 印

Tel：

Fax：

E-mail：

　別添の「新型コロナウイルス感染拡大防止のための生物遺伝資源の緊急一時保管（無償）に係る同意書」の各条項に同意の上、下記のバックアップ資源についてバックアップを依頼します。

また、下記の内容について誤りがないこと、新型コロナウイルス感染拡大防止のための生物遺伝資源の緊急一時保管（無償）に係る同意書第11条第１項の各号に掲げるバックアップ資源に該当しないことを誓約いたします。

記

1. 保管期間終了日：令和3年7月31日まで
2. 保管方法：液体窒素タンク（気相）
3. 依頼箱数：1箱
4. バックアップ資源の内容：別紙のとおり

以上

別紙

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 管理箱番号 | 箱の識別番号 | 管理番号 | 種類 | バックアップ資源の名称 | 識別番号 | BSL | 拡散防止措置区分 | DNA供与体のBSL | 規制の有無 | 標品形態 | 本数 |
| 記入例1 | 微生物 | 酵母 | B16-001 | BSL1 | 該当なし | 該当なし | 無 | 凍結 | 10 |
| 記入例２ | 分離源 | 発酵乳 | MLK-01 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 無 | 凍結 | 5 |
| 記入例３ | 動物細胞 | ハイブリドーマ（マウス由来B細胞、マウス由来ミエローマ細胞） | HydA-051 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 無 | 凍結 | 10 |
| １ |  | １ | 選択 |  |  | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |  |
| ２ | 選択 |  |  | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |  |
| 3 | 選択 |  |  | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |  |
| 4 | 選択 |  |  | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |  |
| 5 | 選択 |  |  | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注： 記入要領（下線部は必須記入項目）

バックアップ資源1種類につき1行作成してください。行が足りない場合は、適宜追加又は依頼書にリストを添付してください。

「管理箱番号」と「管理番号」欄は、箱数と標品数の管理のためにバイオCが使用するので、依頼者は記載不要です。

「箱の識別番号」欄には、箱ごとに記載された記号と同じ記号を記載してください。

「種類」欄には、微生物（組換え体の場合には、「微生物（組換え体）」と記載してください。）、DNA、原生生物、コンソ－シア、植物細胞、動物細胞、分離源のいずれかを記載してください。

「バックアップ資源の名称」欄の名称は、生物遺伝資源又は分離源の内容について記載してください。動物細胞の場合は、細胞の由来を記載してください。場合によっては、安全性確認等のために問い合わせることがあります。

「識別番号」欄の識別番号は、バックアップ資源ごとにアンプルやチューブに記載された記号と同じ記号を記載してください。

「BSL（バイオセーフティレベル）」欄には、依頼者が所属する組織の内規に基づきBSLを記載してください。

「拡散防止措置の区分」欄には、組換え体の場合に、研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令 （平成16年　文部科学省・環境省令第1号）に基づき区分を記載してください。

「DNA供与体のBSL」欄には、組換え体の場合に記載してください。

「規制の有無」欄には、法令に基づくバックアップ資源の移動等に関する制限等の規制の有無を記載してください。

「標品形態」欄には、凍結又は乾燥のいずれかを記載してください。